

平成二十二年三月二十日発行

会報

第四十二号

社団法人・岩手県鍼灸按摩マッサージ指圧師会

挨拶

理事長 下佐 征昭

経済、雇用等に関する明るい情報が乏しく昨年政権が交代したのに関わらず一向に先が読めず、将来の不安につながり心理的にも一層、景気に影を落としている要因となっています。

我々、業界にとりましても生活環境がわずかであっても改善し、順風が吹いてくれることを願ってやみません。このような状況のなかで業友の皆さんはどうお過ごしでしょうか。

21年度を締めくくるにあたり、ここに会報第42号をお送りいたします。逐次、送信しています県情報メールとあわせてご覧いただければ幸いです。

さて、本会の課題の一つに公益法人への移行があります。新公益法人の制度改革で本会の名称は一昨年12月1日から「特例民法法人岩手県鍼灸按摩マッサージ指圧師会」と変わりました。公益法人制度関連3法が施行され5年間の移行期間中の暫定名称です。将来に悔いを残さないよう、しっかりとした判断をしていきたいと思えます。どちらに行くにしても、手続きを開始するに当たり総会の議決がまず必要になってまいります。今までは業権庇護、組織の拡充そして資質の向上を念頭に会を運営してきましたが、新公益法人は真の公益のための組織であるという大前提があります。すなわち地域の住民の健康と治病そして地域保健の予防対策とその活動及び啓蒙に寄与すること。その為の会の運営の半分以上は公益の為の具体的な事業を策定計画し実施すると共にそのための財源を確保していく組織でなければなりません。

公益法人の獲得には何よりも会員一人ひとりが今までの会に対する考え方を一掃し意識を変えること。公益法人は何たるか、何をすべきか、どのようにかかわるのかを知ることからはじめなければいけません。

先日の全国師会長会議で先進県の鹿児島県の師会長さんをはじめ関係者は法人認定移行手続きの経過報告の中で公益法人認定の鍵は所属会員の考え方の結集であると話をしておりました。

認定基準の審査は厳しく複雑で、簡単に認定されるわけはありませんが、多少、経費はかかっても専門家にコンサルティングをしてもらいながら、議論を深め、平成24年度中には法人化認定をめざし作業を進めていきたいと思えます。皆様のご理解とご支援を折にお願いいたし発刊の挨拶といたします。

目 次

挨拶	理事長 下佐 征昭
平成 21 年度 庶務報告	総務 小野田サヨ子
通常総会大船渡大会報告	総務部長 佐藤 明
全国師会長会議報告	理事長 下佐 征昭
全鍼師会代議員総会報告	副理事長 佐々木 実
東鍼連平成 21 年度理事会報告	理事長 下佐 征昭
東鍼連青森大会報告	代議員 佐藤 明
組織強化担当報告	袖林広正法
全鍼師会大会 in 北海道大会参加報告	佐藤 明
学術研修会報告	事業部長 山本孝一
はり灸の日記念事業	
平成 21 年国内、県内十大ニュース	
各師会活動報告及び会員の消息	
編集後記	事業部長 山本孝一
後付	

平成二十一年度 庶 務 日 誌

(平成二十二年一月一日現在)

総務部 小野田サヨ子

平成 2 1 年

- 4 月 4 日 北東北東洋医療専門学校の入學式に下佐理事長出席 (ホテル東日本)。
- 4 月 5 日 法人県民税の納付と申告書、また盛岡市法人市民税の納付減免申請書を提出。
- 4 月 1 1 日 第 1 回正副理事長会議開催 (視福会館)。
- 4 月 2 6 日 平成 2 1 年度第 6 8 回通常総会大船渡大会開催 (キャピタルホテル 1 0 0 0)。
- 4 月 2 8 日 盛岡市法人市民税全額減免決定通知書が盛岡市長から届く。
- 5 月 1 3 日 平成 2 0 年度事業報告書等関係書類並びに平成 2 1 年度事業計画書等関係書類を県知事宛提出。
同日、県立盛岡視覚支援学校に下佐理事長表敬訪問す。
- 5 月 1 7 日 平成 2 1 年度全鍼師会定期代議員総会並びに通常会員総会、東
～ 1 8 日 鍼連平成 2 0 年度第 3 回理事会等に佐々木副理事長出席 (東京京王プラザホテル)。

- 6 月 6 日 第 2 回正副理事長会議開催（視福会館）。
- 6 月 21 日 第 1 回生涯研修会開催（一関市総合福祉センター）。
- 7 月 5 日 第 33 回東北鍼灸マッサーヂ学術大会並びに第 63 回東鍼連代
～ 6 日 議員総会青森大会が開催され、平成 21 年度代議員会並びに第
1 回理事会に下佐理事長、佐々木副理事長、佐藤総務部長が出
席、他の関係会議に伊藤、袖林の常務理事が各々出席（浅虫温
泉海扇閣）。
- 7 月 28 日 元県師会常務理事、元盛岡師会長の猪ノ口富蔵氏の葬儀に理事
長弔電を送る。
- 8 月 2 日 第 1 回常務理事会開催（労福会館）。
- 8 月 23 日 全国保険担当者会議に伊藤保険部長、袖林常務理事出席（東京
新宿区立産業会館）。
- 9 月 12 日 第 12 回東鍼連岩手交流会開催、組織強化担当者会議に袖林組
～ 13 日 職強化担当、佐藤茂会員出席（雫石町鶯宿温泉 南部富士見ハ
イツ）。
- 9 月 20 日 学術研修会開催（県立視覚支援学校）。
- 10 月 4 日 鍼灸マッサーヂの日の事業として、二戸市なにやーとふれあい
祭りにマッサーヂコーナー参加、下佐理事長、二戸師会会員が
参加す（二戸市 なにやーと）。
- 11 月 1 日 第 8 回全鍼師会大会 in 北海道、並びに第 35 回日東医学会北海
～ 2 日 道大会が開催され、佐藤、伊藤、袖林の常務理事が出席（札幌
市 スパ&リゾートホテルシャトレーゼガトーキングダム）。
- 11 月 15 日 第 2 回生涯研修会開催（盛岡市総合福祉センター）。
- 11 月 22 日 東鍼連平成 21 年度第 2 回理事会が開催され、下佐理事長、佐
藤事務局長、佐々木財務局長が出席（仙台市福祉プラザ）。
- 11 月 28 日 東鍼連保険部長会議に伊藤保険部長、袖林保険担当出席（仙台
～ 29 日 市 ホテル白萩）。
- 12 月 5 日 第 3 回正副理事長会議及び第 9 回新法人設立委員会開催（アイ
ーナ）。
- 12 月 13 日 全国師会長会議及び公益法人説明会に下佐、佐々木の正副理事
長出席（東京 京王プラザホテル）。
- （平成 21 年 4 月 2 日～12 月 26 日間 県師会情報第 55 号～
76 号を発行）
- 平成 22 年
- 1 月 17 日 第 2 回常務理事会並びに平成 22 年度東鍼連大会第 1 回実行
委員会開催予定（つなぎ温泉 ホテル紫苑）。

- 1 月 3 1 日 全鍼会員管理ソフト説明会に佐藤総務部長出席予定（東京）。
- 2 月 1 3 日 第 4 回正副理事長会議開催予定（アイーナ）。
- 2 月 2 1 日 第 3 回生涯研修会開催予定（アイーナ）。
- 3 月 1 4 日 平成 2 1 年度通常理事会開催予定（労福会館）。

平成 21 年度 会員動向

項 目	月 日	師会名	氏 名
入会者	4 月 26 日	盛 岡	宍戸 華子
		花 巻	澤口 恵子
		二 戸	朝橋 正美
		宮 古	斉藤真一郎
	5 月 3 日	二 戸	上館 宏
	5 月 15 日	奥 州	姉帯 三春
	6 月 29 日	一 関	大内 唯雄
7 月 7 日	盛 岡	管野 則夫	
1 月 14 日		渡邊 茂樹	
1 月 25 日		藤田 茂樹	
退会者	4 月 29 日	盛 岡	波紫 康人
		奥 州	佐藤 種二
	8 月 8 日	盛 岡	千葉 昭夫
			猪ノ口富蔵

平成 2 1 年度通常総会大船渡大会報告

総務部長 佐藤 明

第 68 回通常総会大船渡大会が、平成 21 年 4 月 26 日(日) 13 時より、岩手の湘南と呼ばれる陸前高田市のキャピタルホテル 1000 において開催されました。心配された前日からの風雨も上がり、古水師会長をはじめとする大船渡師会の会員が、準備万端に整えた会場に、県内各師会から 25 名の参加がありました。

私が司会を担当し、開会に先立ち資格確認が行われ、会員総数 101 名中、出席 25 名委任状 50 名、計 75 名の出席と 26 名の欠席があり、定款の定めにより、「会員の 2 分の 1 以上の出席により総会は成立する」と報告しました。

小澤信男副理事長の開会のことば、下佐征昭理事長のあいさつをいただき、続いて本会顧問の石川文治氏より激励のことばを頂戴しました。

続きまして、今回は地方開催ということもあり、地元から来賓をご招待し挨拶を頂戴しました。

初めに、中里長門陸前高田市長より市民を代表して歓迎とおもてなし、会の活動に対する理解の言葉を、次に、田村誠岩手県議会議員から本会の活動に対する支援と協力の約束、また、同じく菅原一敏岩手県議会議員は地元開催への感謝とお礼、会の活動に対する理解と激励の言葉をいただき、大いに元気と勇気を得ることができました。

ここで、当日出席できなかった山本、佐々木副理事長と盛岡師会からの友好と連帯のメッセージを井口力常務理事から披露してもらいました。

次に、議長の選出に入り、執行部一任の声を受け、古舘吉弘氏（二戸師会）を指名し、続いて議事録記名人並びに議事録署名人は、執行部が選任することで承認されたので、記録人には井口力氏（盛岡師会）、署名人には小澤信男氏（奥州師会）、佐藤明（大船渡師会）の2名を指名し委嘱されました。

議長が登壇し、会議の円滑な進行への協力要請がなされ、審議に入りました。第1号議案の理事長会務報告では、（1）県による立会い検査の実施結果と改善事項について、（2）タイ、スパサービスの経過と今後について、（3）アスレチックトレーナーの養成について、（4）東鍼連大会の改革と青森大会について、（5）療養費の適正申請の要請について、（6）マッサージ等将来検討委員会での資格認定制度について。以上、6項目にわたり報告されました。

第2号議案の各部報告では総務部、事業部及び組織強化担当者、保険部(共済)そして無免許対策特別委員会(佐々木金男委員長)まで、順次報告されました。

第3号議案の平成20年度収支計算ならびに監査報告では、山本英典財務担当から、入会者が増えたことによる入会金や寄付金の増加があったものの、中央への研修会派遣旅費や役員増による旅費など種々の支出が前年度よりも増えたことが報告されました。

また、監事からは、会務や財務の運営執行状況を定款に則り監査したところ、適正に処理されている、また、新公益法人法による組織移行について一部付帯意見を付け報告されました。

ここで、議長が、第1号議案から第3号議案まで一括採決したところ、起立採決の結果、議長を除く全員起立賛成23名、委任状50名で承認されました。

第4号議案、平成21年度事業計画案について事業部長欠席により私より、資料をもとに提案させていただき、今年度より、生涯研修が実施されることと、例年通りの事業を実施することになりました。

第5号議案、平成21年度予算案では山本財務担当から、昨年度よりも収入の減少が予測されるものの、支出も昨年度よりも派遣旅費等の減少が見込まれることから、前年度より少ない予算規模となったことが提案されました。

議長が、第4号議案、第5号議案を一括採決したところ、起立採決の結果、議長を除く全員起立賛成23名、委任状50名で承認されました。

第6号議案、平成21年度生涯研修実施計画（案）について私より、資料をもとに詳しい説明と提案をさせていただきました。県師会単独主催研修会3回とその他2回を受講すると27単位取得になること、関係学術団体の研修受講で修了認定要件が有利になることや、開催要項を県師会情報で伝えることを提案しました。議長が、第6号議案を一括採決したところ、起立採決の結果、議長を除く全員起立賛成23名、委任状50名で承認されました。

第7号議案、平成22年度東鍼連岩手大会実行委員会設置について、下佐理事長から説明と提案がされました。次年度東鍼連理事会には事務局長に私を、財務局長には佐々木財務部長を派遣することとなっており、その二人のほかに大会開催に向けた準備作業をする役員として、佐々木金男盛岡師会長を実行委員長とし、県執行部から小澤信男副理事長と井口力常務理事、その他若干名を委嘱したいとする考え方が提案されました。第7号議案を議長が採決したところ、議長を除く全員起立の賛成23名、委任状50名で承認されました。

第8号議案、その他として、次の3項目がありました。(1) 私より、県師会情報の発行に関して、まだ使用していない会員でパソコンやケータイメールを使用することやファックスの使用を努力目標としてお願いしたいと協力要請いたしました。(2) 同じく私より、安心マークを名刺に使用していただくようお願いがありました。(3) その他として、小松正志氏（大船渡師会）より、5月24日開催の東洋はり医学会研修会の案内と参加要請がありました。

以上、活発な議論も随所に見られるなど、長時間の議事運営にあたった古舘議長より議長降壇のあいさつがあり、最後に小澤信男副理事長の「9.閉会のことば」により締めくくられ、通常総会大船渡大会の一切を終了しました。

予定していた時間よりも早めに終了することができたのも、会員の一致協力と議長の裁量の賜物でありこの場をお借りし感謝申し上げます。

そして、一息ついた後のお楽しみ懇親会が予定された宴会場に集いました。本大会の目玉といってもいいアトラクションは、地元が誇るチンドン「寺町一座」五人衆の出演であります。その出で立ちも賑やかに、面は白塗り化粧にかつらに着流し、股旅姿も勇ましく、拍子木、鉦、太鼓はもちろんギターにサキソホンと鳴り物演奏宜しくの登場となりました。実はなんと全国一位の実績を引っさげての登場と相成りまして、聞く者を懐かしがらせ、見るものを喜ばせ、中には感動の涙を流す方もいたほどでありました。その口上もまたよし、うまく決めたセリフに場内は大うけとなり、拍手喝采の雨嵐、最後にアンコールにも応えていただくなど、一座の面々もまた大喜びで会場を後にしたという、いやが上にも盛り上がったすばらしい余興出演でありました。

その盛り上がった余勢をかって、余興のカラオケもプロはだしの歌手の相次ぐ登場で、割れんばかりの拍手の連続となりました。

二次会には館内スナックでのやはりカラオケの競演となりました。

三次会は各部屋での懇親や激論、はたまた言葉の格闘技などもあったそうですが、あっという間に朝となりました。

朝食後には、高田松原海岸まで1時間あまりの散策を楽しみ、心地よい風に吹かれ、アルコールも何処かへ消し飛んでいきました。10時にはバスの皆を見送り、解散となりました。

今回の総会は、大船渡師会主管で開催され、その結束力による準備と運営の良さ、そして来賓を招いての開催ということもあり、緊張感のある大会という印象が強く残りました。それとは対照的に夜の懇親会は大いに気楽に楽しい時間を過ごすことができ、すべて段取り通り、無事滞りなく運んでいただきました。これも古水師会長はじめ、大船渡師会会員とホテル関係者の全面的な協力態勢によるものであると感謝申し上げたいと思います。

地方開催の利点を感じることもできましたし、今後の地方開催の課題も提起されるなど、いろいろな意味で思い出に残る大会となりました。

本会にとって今後の飛躍と発展のための有意義な大会となりました。

関係者各位、皆様のご協力に深く感謝申し上げます。

平成21年度都道府県師会会長会報告

理事長 下佐 征昭

13日(日)午前11時より東京新宿の京王プラザホテルにおいて全48師会の会長が出席(内5師会は委任状出席)、常任理事10名が出席し開催。

山本副会長の司会のもと、堀副会長の開会宣言、杉田会長の挨拶の後議事に入り、議長に前田利信熊本県師会会長、副議長に持田栄一島根県師会会長、議事録署名人に宇須章生全和歌山県師会会長並びに中川せつ子香川県師会会長を選出、書記に田中光太郎事務局長が指名された。

杉田会長挨拶は①公益社団法人移行後の師会会長会のあり方 ②会員管理ソフト利用講習会開催 ③全鍼師会大会 in 北海道が成功裏に終了し感謝 ④日東医新学会会長選出 ⑤その他報告として、行政への陳情・申入れ事項、政治連盟のあり方等の内容であった。

午前中は、議題1) 報告事項は①第8回全鍼師会大会 in 北海道総括 ②第8回全鍼師会大会 in 北海道決算報告並びに平成21年度入会金・年会費状況 ③会員管理システム講習会開催 ④杉山和一記念事業状況 ⑤ゼンシン体操ポスター配布 ⑥各学校へ全鍼師会入会案内送付 ⑦生涯研修状況 ⑧来年度行事予定の報告が行われた。

午後は、議題2) 新公益法人制度への対応において概要と移行手続きのポイントについて、公益財団法人公益法人協会専門委員 岡部 亮氏の講演、移行取組み状況報告及び質疑応答が行われた。

講演は、①公益法人への移行 ②一般法人への移行 ③申請手続き、認定・認可取得後の作業等 ④定款と業務運営の留意点 ⑤制度設計といくつかの留意点を内容とするもので、1時間20分に亘って行われた。

次に全鍼師会より新公益法人移行準備委員会経過報告と各師会対応状況アンケート結果報告。鈴木 和彦静岡県師会会長並びに今村 茂鹿児島県師会会長より移行取組み報告が行われた。

質疑応答は、前以って質問のあった・公益目的事業への管理費配分方法 ・事業の仕分け、区分、記載内容 ・定款作成 ・医療保険の療養費取扱い業務 ・道府県師会支部の取扱い等を中心に行われた。定刻の4時を若干まわったところで高田副会長の閉会の言葉によって閉会した。(全鍼師会の議事録)

全鍼代議員会等報告

副理事長 佐々木 実

5月17日、18日と行われた全鍼代議員会、会員総会、政治連盟総会、協同組合総代会、東鍼連理事会に出席して参りました。

まず代議員会と会員総会ですが、20年度の事業や決算報告、さらには21年度の事業計画案と予算案は満場一致で承認されました。

次に、報告や話し合われたことを箇条書きします。

- 生涯研修は年々修了者が増えており、昨年度は532名(18年度は279、19年度は417)となりました。
- 会員管理ソフトは音声化は難しいが、レセソフトは対応させる予定。
- 全鍼は公益法人を目差し、来年度の総会では定款改正を行いたい。会計も新会計基準(3月にまた新しくなった)に沿って行うよう変えていきたい。
- 医療保険による訪問マッサージと介護保険による訪問リハビリが将来競合する恐れはないのか?(今のところ大丈夫だが、見守って行きたい)

- 会員証の有効期限をなくしては？（検討するが、当分はこのままでいきたい）
 - 全鍼会費に「全鍼110番料金も含めるようにしては？（各師会の立場もあるだろうから、意見を今後聞いていきたい）
 - 柔整師があはきの免許を持って、安価にあはきをやることについて協議してほしい。（条件を満たしていれば違反摘発できない。ただ、柔整の不正請求が目立っていることも確かで、今後見守っていきたい）
 - 保険の償還払い移行が進められている。知恵を絞って法的に委任払いを揺るぎないものにできないか弁護士などの意見を聞いて検討していきたい。
- また、今年度は会長選挙の年で、武田氏と杉田氏との間で選挙が行われ、杉田氏が圧倒的票を得て当選。5期目を迎えることとなりました。

政治連盟総会では、「あはき免許試験に「国家」という言葉が入ることが議員立法で出され実現した。これは政治連盟の力だと評価。今後とも献金カンパを各師会にお願いしたい」とのことでした。

協同組合総代会では、「生保を担当しているアリコジャパンが危ないのではないか。早急に他に乗り換えるべきでは」という意見が出され、その件については執行部に一任となりました。

最後に東鍼連理事会ですが、17日の夜8時半頃から2時間程行われました。内容は、東鍼連青森大会の進捗状況と法人移行に対する各県の進捗状況や考えを述べ合いました。特にも法人移行については意見が白熱し、会議の半分以上の時間がそれに費やされました。そしてこれについては、まだまだ勉強と情報収集が必要なことを感じて帰って参りました。

以上で報告を終わります。

平成21年度 第2回東北師会長会議報告

理事長 下佐 征昭

日時 : 平成21年11月22日(日) 11:00~15:00 会場 : 「仙台市福祉プラザ」7階創作室

○出席理事 <資格確認 笹川常務理事>

福島県・梅宮光男、宮城県・山田幹夫、青森県・笹川隆人、岩手県・下佐征昭、山形県・松田吉男 秋田県・高橋和彦（小松田泰代理）、佐藤明・事務局長、佐々木実・財務局長

- 1、開会のことば：佐藤事務局長
- 2、会長あいさつ：梅宮会長
- 3、議長選任：下佐理事（会長指名）
- 4、議事録作成：佐藤事務局長（議長指名）
- 5、議題

第1号議案 青森大会の総括と反省

学術大会について総括と反省。

東北各県の参加協力に感謝する。参加者が前回より少なかったことが反省点。学術研究発表テーマ「腰痛」は、発表者も聴講者も関心が高く好評だった。発表も様式に従い、まとめやすく聞きやすく次回も継続を望みたい。

懇親会については概ね良かったと思う。

フリートークについての意見。

テーマが多くまとまりに欠けたので、次回は参考にしてほしい。青森大会を参考にフリートークの次回開催を含め、テーマを絞ることで検討する。

代議員会についての意見。

前回より理事会と合同開催され、だいぶ慣れてきたように思う。前段に理事会の懸案議題を終了後、代議員会開催を宣言し、理事会との区分けをすべき。

次年度から、そのような形式で実施することで了承。

大会全体の運営についての意見。

よくやっていただいたと思う。

参加者 110 名、宿泊 88 名で前回より少なかった。

会長交際費について、会より支出すべきと思う。

大会経費としてよりも、年度末決算時の支出とすることで、理事会決定してはどうか。

以上の通り承認された。

第2号議案 理事会並びに総会における懸案事項の処理

東鍼連大会の土・日開催について意見。

各県に持ち帰り意見集約をお願いしていた。

秋田が提案した。できれば土・日開催という要望が一部会員にある。

学生を誘いやすいということもあった。

代議士等の来賓招待の兼ね合いもある。

日・月開催が安価となることと、7月第1週日・月の基本で申し合わせをしている。

開催県の判断により、土・日開催があってもいいと思う。
参加費の金額についてどうか。

前例実績から 17000 円と日・月開催が妥当という判断であり、理事会で決定するもの。以上の通り承認された。

第 3 号議案 21 年度の事業と会務の中間報告

9 月 12～13 日 東鍼連岩手交流会

11 月 22 日 第 2 回東鍼連理事会

11 月 28～29 日 保険担当者会議

特に異議なく承認された。

第 4 号議案 21 年度の予算執行と会計中間報告

財務局長として資料に基づき報告した。

会長交際費については大会経費とするより、年度内処理としてはどうか。

理事会決定とすることで了承いただきたい。

大会資料印刷費が増加傾向にあるが、公益社団化に備え一般向け用にも増刷したい。

従来各県ごとに点字墨字各 20 部を事前送付している分を見直してはどうか。

複数の資料が配布されずに残ることがある。

予め参加者人数分とその他必要部数の報告をすることで申し合わせとしたい。

その他、特に異議なく承認された。

第 5 号議案 各県活動報告と新公益法人化状況報告

青森：東鍼連大会を開催した。

生涯研修会 7 回（42 単位）実施中。

各支部の治療奉仕が各 6 回、健康まつりに参加。

トレーナー活動として、県水泳連盟理事就任（笹川）し、委員として治療に当たる。

新公益法人移行に向け、会計書類を昨年度整備し今年度から運用。

定款改正について理事会承認を得て、来年度中に申請作業に入る予定。

秋田：9 月 27 日角館－鹿角 100km マラソンに 10 名参加し 104 名施術。

新潟国体にトレーナーとして 6 名参加。

10 月 11 日学術研修会開催し講師は笹川先生、テーマは治療院経営について。

新公益法人移行に向けては、小松田会長が準備作業に取り組んでいる。

山形：4 月 26 日県縦断駅伝でマッサージ奉仕、5 名参加し 25 名施術した。

無免許対策では、山形新聞に 14 回広告掲載している。

生涯研修は、総会時と秋に県主催で開催し各支部ごとに開催している。
新公益法人移行よりは、会員高齢化もあり、全鍼、日鍼、保鍼会の
合併優先が望ましい。

宮城：8月9日鍼灸マッサージの日に無料体験会実施。

8月30日市民対象公開講座実施。

10月4日学術大会開催。

生涯研修会は35単位を組んでいる。

12月6日創立70周年記念式典予定。

新公益法人移行は、会計基準等資料情報収集しつつ学習中。

申請準備作業は外部委託になる見込み。

福島：生涯研修会を県・支部合わせて年度内50単位を実施中。

新公益法人移行については、来年度総会に新定款案を提示し承認を得
る方向。

公益及び一般については検討中で判断は未定。

岩手：生涯研修会をスタートさせ軌道に乗りつつある。県主催3回とその他
で27単位予定。

各支部ごとに奉仕活動、マラソン大会へのスポーツマッサージ奉仕の
実施。

新公益法人への移行については、推進委員会で検討中。

専門家の協力を得ながら公益社団を目指す。

その他、新公益法人への移行の対応について情報交換と意見交換をした。

第6号議案 岩手大会の進捗状況について

岩手の会長として報告する。

平成22年7月4、5日（日・月） つなぎ温泉 ホテル紫苑

学術大会テーマは「五十肩」

特別講演 増田 進医師

詳細については今後実行委員会で検討していく。

学生参加を呼びかける場合は、相応しいテーマを組み入れてはどうか。

第7号議案 各県提出議題について

東鍼連交流フリーMLは入退会の管理がしにくく廃止したい。（管理人：青森
県日野氏）

廃止について全員了承することで確認した。

東鍼連交流MLの新設方法を検討し、年度内に提示する。

東鍼連理事間の情報交流はCCボックス活用とする。

東鍼連理事会の呼称について会則に照らし確認をした。

第8号議案 その他

第3回東鍼連理事会について来年5月16日全鍼師会代議員大会の夜とすることを確認した。

6、その他 特になし。

7、閉会のことば：佐藤事務局長より終了宣言した。

{東鍼連事務局の議事録から抜粋し記載}

東鍼連青森大会報告

総務部長 佐藤 明

7月5日(日)～6日(月)浅虫温泉海扇閣において、「温もりある未来は東北から！」のテーマのもと、第33回東北鍼灸マッサージ学術大会並びに第63回東鍼連代議員総会青森大会が開催された。大会に先立ち、平成21年度代議員会には下佐理事長のほか、次年度当番開催のため佐々木副理事長、私(佐藤総務部長)も出席した。保険部長会議に伊藤部長、組織担当者会議に袖林組織強化担当が出席した。参加者は本県から役員会員あわせて15名が出席し大会の盛り上げに貢献した。

開会式に続いて、学術発表は村上直人会員が「後頭神経痛」と題してトップで登壇した。

今回のテーマは神経痛とあって、6人の研究発表に質問も相次ぐなど、熱心な大会となり、引き続いて行われた学術講演では、「神経痛について」と題し、講師の青森慈恵会病院院長丹野雅彦先生がプロジェクターを使いながら講演された。

続いて特別講演として、全鍼師会杉田会長の「鍼灸マッサージのさらなる発展を目指して」と題しての講演があった。夜には、ロビーホールでの津軽三味線の熱のこもった生演奏会があり、折からの青森の暑い夜を堪能した。

そして、お待ちかねの懇親会が盛大に催され、陸奥湾のおいしい海の幸に舌鼓を打ち、カラオケの競演に一層の盛り上がりを見せた。なお出演者には豪華景品があった。

翌日は、フリートークということで、シンポジストに、杉田会長、梅宮東鍼連会長、山田宮城県師会長、馬場組織強化ブロック長があたり、山田宮城県師会長からの混合診療についての基調講話をもとに、混合診療についてそれぞれ意見をのべた。

これは、混合診療についてのより具体的な現状認識を深めることになった。また、生涯研修会の各県の取り組み状況や、組織強化の観点からの情報交換がフロアからもあり、そのほかにも種々質問意見が出され、とても有意義な時間だったと感じた。

その後、代議員会報告があり、提案された各議題が原案通り承認されたことをはじめ、保険部会、組織強化部会からも討議結果が報告された。

閉会式には、下佐理事長から次年度東鍼連岩手大会が、つなぎ温泉ホテル紫苑で開催されることと、次回開催の成功を期し関係各位に協力要請をした。

また、閉会式後青森県の担当者との間で、事務局長佐藤明、財務局長佐々木実がそれぞれ事務と会計の引継ぎを行なった。

組織強化担当報告 袖林広正法

1. 第12回東鍼連岩手交流会報告

平成21年9月12日から13日にかけて、岩手郡雫石町の南部富士見ハイツで行われました。

参加者は研修会33名で行われました。

岩手は盛岡が10名、奥州2名、一関2名、計14名です。

他県は青森3名、福島1名、宮城5名、秋田5名、山形1名、北海道1名、一般3名でした。

内容は、講義1、伊藤庸一先生 介護保険事業所の立ち上げでした。

次は、講義2、平野繁先生 鍼灸師に役立つ医療面接

問診法、医療面接法、アラフォー世代からの女性のメンタルケアでした。

翌日は、講義3 松村諭先生 ヨーガを健康に取り入れようでした。

2. 第8回全鍼師会大会 in 北海道

私は、平成21年10月31日から11月1日にかけて、札幌で行われた、全鍼大会イン北海道に同県師会の佐藤明さんと伊藤庸一さんと三人で参加しました。

私が参加したなかで印象的だったのは次の3つです。

一つ目は保険系で「あなたならどうしますか」でした。

今までの会としての「保険の取り扱いと今度の流れ」を吉井局長が話され、参加者は、イエスとノーに別れ、おのおの考えを述べるというものでした。

参加者は白熱した意見を皆、真剣にぶつけ合い、活発な内容でした。

三つ目は組織強化系で「流行る治療院をつくろう！コストゼロ、魔法の集客術とは」でした。

これは、進行がおくれて、時間が短縮の形をとったため、概要だけとなりました。ホームページの活用、売り上げの上げ方、患者教育などでした。

あとで、メーリングで資料は配るとのことです。

三つ目は「自己流から一流へ」、接遇講座ジャルアカデミーの講師による接遇の話でした。

会として録音をとってあるので、後で配布するとのこと、録音禁止でした。

内容は「第一印象と挨拶」、「表情トレーニング」、「身だしなみチェック」、「内面的態度と外面的態度」、「言葉遣いの三つのポイント」という内容でした。

これを、何とかマスターして、治療師人生に取り入れたいと思いました。

以上です。

第 8 回全鍼師会大会 in 北海道

第 35 回日東医学会北海道大会参加報告

今回の大会には、岩手から 3 名の役員が参加しました。それぞれ報告文を順に記載させていただきます。

共同開催された大会

学術担当 佐藤 明

平成 21 年 11 月 1 日～2 日、両大会は、札幌市のスパ&リゾートホテルシャトレゼガトーキングダムにおいて共同開催され、全国から多くの会員と地元の学生や一般市民など、二日間でのべ約千名の参加者がありました。大会テーマである「みんなで創ろう医療も介護も、これからも」のもと、2 日間のプログラムが盛りだくさんの企画と、地元北海道師会の一致結束した熱気あふれるおもてなしと運営で大いに盛り上がりを見せました。

開会式は、地元の政治家や医師会長をはじめとする関係諸団体などから、多数の来賓が列席され、今大会が共同開催となったことから、主催者のあいさつもひととき格調高いものとなりました。

開会式後の特別講演は、破綻した夕張市において地域医療を通し、地域再生への取り組みを実践されている、村上智彦先生の「住民と共に守る健康」と言う演題で話されました。勇気とバイタリティーあふれる実行力で、多額の負債をかかえる病院再建に果敢に挑戦していることで有名になった先生ですが、ユーモアのある語りとユニークな考え方があいまって楽しい講演でした。

独特な考え方とアイデアで経営改善をはかりつつ、明るく楽しい病院再建をしている様子が話されました。それは、離れた大病院にかかるのではなく、地元の病院と介護施設を利用しながら、自分の健康を自分で守るという、当たり前のことを病院や医者がサポートし、地域再生へとつなげて行くのだ、という言葉は大いに説得力のある内容でありました。

第一日目の分科会（1）学術局の「鍼灸医療推進研究会 3 ヶ年中間報告と今後の活動について」（2）学術局の「マッサージ等将来研究会報告」（3）スポーツセラピー部の「全国のスポーツセラピー徹底比較！」という分科会に出席させていただきました。

まず一つ目についてまとめると、卒後研修会を充実させる重要性と新卒者を業界人として受入れるよう望みたいという話が出されました。

次に二つ目の「マッサージ等将来研究会報告」ですが、この研究会には三つの部会があり、1.法令部会 2.生涯研修部会 3.普及啓発部会のいわば中間報告がありました。主な点としては、法令部会は、マッサージの名称独占を求めていく、生涯研修会では、他団体との相互乗り入れや認定証の統一化など、普及啓発部会ではマッサージというものを、正しく後世に伝承する活動をしたい、などの報告がありました。

次に三つ目のスポーツセラピー部「全国のスポーツセラピー徹底比較！」という分科会では、

三人の事例体験報告と、中田和宏全鍼師会学術委員による「スポーツ鍼灸マッサージと消毒法」という講話がありました。事例発表の中で、今年開催された新潟国体の話などは、2016年岩手国体に向け参考にしていきたいと思います。また、熊本県では、今年10月に全鍼師会と日鍼会及び保険鍼灸師会の三団体が統合し、二年後の公益社団法人取得を目指していることや、スポーツセラピー部を設置して国体対応の準備を三年間かけた研修会をしたそうです。

また、消毒法については、いわゆる現場での基礎的方法論が話されましたが、臨床や日常生活にも応用ができるものだと思います。

一日目最後のプログラムである学術講演は、西谷雅史先生による、「響きあう医療とは」と題する講演でした。西洋医学にとどまらず、太極拳や西野式気功法、統合医療を実践するクリニックを開き、「病気を治すことは患者を治すこと、患者の肉体、感情、精神、魂などの全体像にアプローチすることが必要」、「心とからだと環境の調和をはかる」を医療の基本として実践されているお話でありました。このような考え方の医者が増え、一つの流れになりつつあるように感じます。

二日目は、日東医学会の分科会に出席しました。テーマは「統合医療とコメディカル」というシンポジウムでありました。パネリスト4名による発表があり、パーキンソン病に関するものが多く取り上げられ、個人的にも関心のあった疾患でもあり、とても参考になるシンポジウムでした。

その後、フリートークとして、「鍼灸師会と日東医の将来展望」というテーマで、丸山広報局長を座長に4名のパネリストが意見を述べられ、フロアからの質問などもあり、今後の方向性について意見交換がされました。それは、業団・学会・学校が連携し、近年のわが国の保健医療福祉を取り巻く現状と、鍼灸への期待や関心の高まりつつある中、国民に対して、より質の高い鍼灸医療の提供と鍼灸需要の喚起を目的とした取り組みを進めていく中で、両者の最良の関係構築というものを考える機会となりました。前日の日東医学会理事会において、新学会長に緒方昭広先生が選任されたことにより、あらたな展開も予測されます。

大会最後には、全体のまとめとして、山本副会長より総評があり、次期開催地の石川県の役員と北海道とで大会旗をバトンタッチし日程の全てを終了し大会は閉幕しました。北海道大会に参加させていただいた感想は、参加者も多く大成功の大会だったと思います。惜しむらくは大会全体を通して、共同開催なるが故とは思いますが、内容の濃いプログラムが盛りだくさん過ぎて、時間配分が足りず日程に余裕がなく不完全燃焼だったように感じました。

分科会参加報告

保険部長 伊藤庸一

保険局分科会は吉井保保険局長の進行で始まる。

平成13年6月から始まった実務者による厚生労働省保険局医療課との定期協議は本年3月に通算100回目を迎えた。その経緯は斯界通信等で既報の通りである。今年5月には施術者登録番号を全ての保険者に周知されるなど実践的要素の外堀は整った感がある。この取扱いを確実なものにするには協定・契約等の必要性は会員共通するところであるが、その実現にはどのような方策を講ずる必要が考えられか「あなたならどうしますか？」YES, NOのグループに分かれて「私はこう思う」の意見を論じて欲しい。最新の話として平成21年7月発行の「療養費の支給基準」のマッサージの取り扱い中に

- 1) 骨折・脱臼も医師の同意に基づき治療できる。

2) 施術局所を 5 局所と明記された。

3) 委任払いを認める文言の明記がされた。

等などの報告がありディスカッションに入る。

提案事項として

①施術者登録番号が付与されたが、協定契約の後に付与されるべきなのか？

先に付与されたことをどう思うか？

②どうしたら同意書をはずせるか？

③団体協定を結ぶのに何が欠けているか？

参加した会員がYES・NOに分れ、激しい意見が出され保険局に対する要望も多くあり厳しさを増す保険取扱いの今後に期待する大きさが伝わる内容であった。

次に、スポーツセラピー部は、「全国のスポーツセラピー・徹底比較」と題し、各県の取り組みが紹介された。スポーツセラピーは鍼灸マッサージ師の新しい活動分野として、また普及啓蒙の場としても最高の舞台と捉え、すばらしい活動をしている熊本県・栃木県・新潟県よりその活動内容やどのように作り上げたか、さらに今後の展望についての発表があった。

発表 1 高野栄先生（新潟県師会）

一週間前に終了した第 64 回国民体育大会・第 9 回全国障害者スポーツ大会「トキめき新潟国体」に他団体と協力し、「トキめき新潟・鍼灸マッサージ協会」を設置し、平成 19 年 7 月より講習会を実施し、各種スポーツイベントでの実施講習等の準備を重ねてきた。団体では水泳・空手道など 4 種目、障害者大会では、陸上・卓球・バスケットボールなど 5 種目の会場にブースを設け鍼灸マッサージの活動を行った。選手にはコンディションの調整、大会関係者には疲労回復、また一般観客には普及啓蒙の為とどの会場も盛況であった。

発表 2 小平邦彦先生（栃木県師会）

平成 8 年に全鍼・日鍼の青年部長が話し合い、その後、視障協、盲学校・全病理を加え 5 団で「栃木県東洋スポーツ学会」を立ち上げ平成 9 年から約 1 年で会員 4 万円、学生 2 万円、一般 5 万円の講習料をもってセミナーを開催し終了時に試験をして、合格者を県認定のスポーツセラピー師として登録し、各種スポーツ大会において活躍をしている。5 年毎の更新制で現在 60 名登録している。

発表 3 草川正規先生（熊本県師会）

全鍼と日鍼と保鍼会が一つになり「スポーツ鍼灸熊本」を立ち上げ法人格を目指している。

10万円の講習料で3年間の研修を積み、現在85名がスポーツケアセラピストとして登録し、県スポーツ大会、市民健康スポーツ大会で活動している。

最後に中田和宏全鍼師会学術委員より、スポーツセラピーの先進県である神奈川県師会を参考に、取り組みの方法・目的・必要性についての講話があり、各県での取り組みを期待され結びとなった。

次に、介護事業推進委員会（第14、第18分科会）では、早分かり介護予防－実践編－として、始めに、小川眞悟介護事業推進委員から地域支援事業の説明があり、地域の中で重要な社会資源である我々鍼灸マッサージ師の得意分野である「未病治」を実践するステージが整いつつある。実際に地域支援事業を受託し活動している具体的事例を報告いただき、今後の取り組みについて話し合った。

発表1 長嶺芳文先生（埼玉師会）

川口市・鳩ヶ谷市・富士見市では公民館・市役所における地域支援事業への取り組みをしており、特に富士見市では5ヵ所の治療院で受託し利用者が直接来院し、治療と一緒に1回、90分、3,000円、毎週1回で3ヶ月、全12回の事業を実施している。

発表2 新部功先生（北海道師会）

七飯町での通所型高齢者生活機能向上支援事業の取り組みを紹介。

発表3 常盤和成先生（石川県師会）

平成21年3月から、市から治療院で受託して院内で地域支援事業を実施している。

以上3件の事例発表があり、その後フロアーと活発な意見交換が行われた。

次に朝日山一男先生の指導により「地域健康づくり指導者研修会」デモンストレーションとして「経絡テスト」「介護予防運動」等を行い参加者全員で心地よい汗を流した。

北海道大会に参加して

組織強化担当 袖林広正法

私は、平成21年10月31日から11月1にかけて札幌で行われた、全鍼大会イン北海道に県師会から佐藤明さんと伊藤庸一さんと三人で参加しました。私が参加したなかで印象的だったのは次の3つです。

一つ目は保険系で「あなたならどうしますか」でした。今までの会としての「保険の取り扱いと

今後の流れ」を吉井局長が話され、参加者は、イエスとノーに別れ、おのこの考えを述べるというものでした。参加者は白熱した意見をみな、真剣にぶつけ合い、活発な内容でした。

二つ目は組織強化系で「流行る治療院をつくろう！コストゼロ、魔法の集客術とは」でした。

これは、進行がおくれて、時間が短縮の形をとったため、概要だけとなりました。ホームページの活用、売り上げの上げ方、患者教育などでした。あとで、メーリングで資料は配るとのことです。

三つ目は「自己流から一流へ」、接遇講座ジャルアカデミーの講師による接遇の話でした。

会として録音を録ってあるので、後で配布するとのことで、録音禁止でした。

内容は「第一印象と挨拶」、「表情トレーニング」、「身だしなみチェック」、「内面的態度と外面

的態度」、「言葉遣いの三つのポイント」という内容でした。

これを、何とかマスターして、治療師人生に取り入れたいと思いました。

平成21年度学術研修会

事業部長 山本 孝一

9月20日（日）9時30分より岩手県

立視覚支援学校視聴覚室、按摩室において開催されました。

講師は 岩手県立宮古病院 松館 久美子（主任看護師・助産師）

芳賀 真由美（理学療法士）

演題は 「リンパ浮腫に対するリンパドレナージュの理論と実際」

午前はプロジェクターを使いながら講演された。4月から始めたばかりで症例は少ないが、医師の指示のもとに行っている、今までの癌患者さんは術後の浮腫は、そういうものだときらめておりましたが私たちのトルナーージュにより症状が軽減し感謝されている、今は宮古病院と中部病院で行っている。午後は按摩室に移り、弾性包帯の巻き方など実技が指導されました。

今回は受講された方は50名強と例年より多くありました。

「はり・灸・マッサージの日」記念事業

10月4日、二戸市の二戸駅隣接の「なにやーと」においてカシオペア障連主催第6回ふれあい祭りにブースを設け全鍼師会のポスターを張り、理事長はじめ二戸師会員5名参加しマッサージおよび健康相談を実施しました。無資格者取締りのビラとティッシュを配布し多くの人に理解を求めました。

当日は曇りときどき雨という天気にもかかわらず多くの方が私たちのブースに立ち寄ってくれました。そして、「楽になった」とか、「無資格者はどうやって見分ければいいのか」など質問も出されました。

大変好評で私たちの趣旨をご理解頂けたものと思います。これからもこのような活動を続けていきたいと思っております。

訃 報

猪ノ口富蔵元常務理事が平成21年7月26日急逝されました。猪ノ口さんは長年にわたり常務理事を努められ、また盛岡師会長として本会の発展に尽力されました、71歳でした。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

平成21年 国内・県内十大ニュース

(岩手日報社)

国 内

- ① 衆院選で民主党圧勝。政権交代で鳩山政権誕生
- ② 裁判員裁判がスタート
- ③ 新型インフルエンザが大流行、死者も増加
- ④ 円高。デフレ宣言。日航の経営危機など企業業績悪化
- ⑤ 事業仕分け、八ツ場ダム中止など新政権の政策続々と
- ⑥ 年越し派遣村に多くの人。失業率最悪レベルで雇用不安
- ⑦ 足利事件でDNA不一致の菅家さん釈放、再審開始
- ⑧ WBCで日本が連覇。イチロー、松井もメジャーで活躍

- ⑨ 核持ち込みなどの外交密約で元次官らの証言、相次ぐ
- ⑩ 地方の高速道路が土日祝日、1,000円で乗り放題

県内

- ① 花巻東活躍、菊池は西武へ
- ② 新型インフル感染拡大
- ③ 衆院選。民主が全県制覇
- ④ 世界不況、県内も大打撃
- ⑤ 早池峰神楽が無形遺産
- ⑥ 県警不正経理、本部長ら処分
- ⑦ ETC効果、観光地にぎわう
- ⑧ 小沢氏が民主幹事長に
- ⑨ 秘書逮捕で小沢代表辞任
- ⑩ 5施設無床化、民間移管も

盛岡師会報告

総務部

今年の盛岡師会を語る前にまず残念な報告をしなければなりません。それは前盛岡師会会長であった猪ノ口富蔵さんが7月26日に亡くなられたことです。70歳でした。心臓に病気をかかえておられた氏でしたが、亡くなる当日まで患者さんの治療に当たっておられたようです。心よりご冥福をお祈り致します。

さて、今年の盛岡師会は新入会員に宍戸華子さん、澤口恵子さん、渡邊茂樹さん、藤田茂樹さんの4人を迎え55名となりました。これは県師会会員の半数を超える人数です（県師会105人）。先日たまたま、県師会会員数が最も多かった年の一つである昭和56年の県師会の名簿を見せて貰う機会がありました。県師会会員が最大200人余の時の盛岡師会の会員数は54人でした。それからすると今の人数が盛岡師会としてはもっとも多い年になったようです。

盛岡師会からは県師会の会長・副会長・常務理事等多くの人材を輩出し、岩手県の業界の中枢を成していると言ってもよいでしょう。ただ残念なのは、会議や研修会等への一般会員の出席率が今ひとつだということです。今年度から県師会の生涯学習が始まりました。単位制のこの研修会は来年度も続行されます。一層多くの会員の参加が望まれます！

以下に盛岡師会の事業を記します。

4月12日、定期総会

5月12日、テープ会報発行

11月3日、盲人ホームあはきボランティア

11月8日、西厨川老人福祉センターでのマッサージボランティア

12月12日、忘年会

他に、4回の役員会、県や東鍼連等上部団体行事への参加。それと盛岡市とタイアップして市内4箇所の老人ホームでの無料マッサージを行っております。

来年は6年に1度回って来る東鍼連大会が盛岡の繋温泉「ホテル紫苑」で7月4日・5日に行われる予定です。盛岡師会では会長を実行委員長に県師会に協力すべく準備を行っております。成功させるためにも会員の皆様の一層のご協力をお願いして報告と致します。

奥州師会

総務

花巻東高校の活躍、裁判员制度のスタート、政権交代、新型インフルエンザの流行と、今年も様々な事がありました。特に政権交代にあたっては我々業界にとって丁と出るか半と出るか、もしか途中で倒れるかは別として、とにかく4年間は見守って見たいと思います。新型インフルエンザに罹ったという会員の声は聞かれず、今のところ元気で仕事をしているようで何よりですがしかし流行はまだまだ勢力を弱めておらず、これからもマスクの着用や手洗いうがいをして流行に乗らないように充分に気をつけてもらいたいと思っています。

本会の主な行事

4月12日 定期総会開催

5月31日 第1回役員会開催

7月12日 治療奉仕実施

8月9日 はり灸マッサージの日にちなみ地方新聞へ広告を掲載する

12月27日 第2回役員会開催

1月24日 新年祝賀会開催

3月7日 第3回役員会開催

治療奉仕活動について新型インフルエンザの流行もあり1回でその後の活動は見送っています。

会員動向

以前に一度退会された大内唯雄さんが再度入会しました。大内さんは開業し出張治療を主として頑張っています。よろしくお祈りします。

一関師会

師会長 千葉 謙一

平成21年度師会報告をいたします。

はじめに、会員動向について、退会者はなしで入会者は菅野 則夫さん大東町が入会しており会員数が10名となっております。

さて、昨年はアメリカ発の世界同時不況の傷も癒えず国内ではさらにデフレ経済が進行し先の見えない不況感の漂う一年ではきを取り巻く環境も一段と厳しさを増しているものと思います。明るい話題として、一昨年発生した岩手宮城内陸地震による災害復旧工事も進み今年の6月には須川温泉まで全面開通予定です。これで、一関市の最大の観光資源である一関温泉郷も息を吹き返すものと思います。皆さんも是非おいでください。

また、顧問をお願いしている神崎 浩之先生が10月の市議会選挙においてトップ当選をしております。

活動報告

4月5日(日) 平成21年度定期総会開催 福祉センター

会員6名、神埼顧問にも出席していただく

5月31日(日) 第1回慰問治療 福光園・関泉園 参加者11名

6月21日(日) 第1回生涯研修会 本部主催 福祉センター

8月30日(日) 第2回慰問治療 福光園・関泉園参加者11名

9月20日(日) 第28回一関国際ハーフマラソン大会 マッサージ奉仕
参加者12名

そのほか、生涯研修会には積極的な参加を呼びかけております。

大船渡師会

大船渡師会長 古水 健吾

3月 8日 大船渡師会定例総会開催(大船渡市 百樹屋(ももきや))
9名出席

4月26・27日 岩手県師会通常総会 キャピタルホテル1000
(陸前高田) 大船渡師会より8名出席

6月21日 生涯研修会に参加 一ノ関市総合福祉センター 3名参加

6月28日 特養老人ホーム高寿園(陸前高田市) マッサージ奉仕
活動 8名参加で、56名施術

9月20日 自立支援セミナーに参加 盛岡視覚支援学校 1名参加

- 10月4日 第8回大船渡保健所職員の講演と懇談会
県立福祉の里センター（大船渡市） 9名参加
- 11月15日 生涯研修会に参加 盛岡市総合福祉センター 3名参加
- 11月18日 大船渡保健所へ、相互リンク開設の申し入れ
- 11月24日 大船渡保健所との間で、相互リンク開設
- 12月13日 年末恒例忘年会（陸前高田市 家紋）9名出席

〈まとめ〉

大船渡師会平成21年度の活動は、無免許者対策の一環として、気仙ローカル紙である東海新報紙上に毎月2回の広告掲載を継続しています。

これが「鍼灸マッサージ業」の市民への啓発と存在アピールになっている事は間違いありませんし、無免許業者の広告減少効果となっています。

また、今年度は、大船渡保健所との間で、相互リンクの開設が出来た事が意義あることだったと思います。

8回目を数えた大船渡保健所職員との懇談会ですが意義のある情報交換になっていて継続させていきたいと思っています。

今年度は、新型インフルエンザの流行により、その対策をしながらという年でした。また、その影響で10月に予定していた、老人ホームでのマッサージ奉仕活動が中止になりました。

最後になりましたが、4月に行われた県の通常総会を大船渡師会で運営させていただきましたが、皆様の参加とご協力に感謝申し上げます。

以上です。

二戸師会

広報部

皆様、お元気でお過ごしでしょうか。今年も、会報を書く時期となりました。いつも、この時期が来ると頭が痛くなるようです。

さて、今年も振り返ってみますと、いろんなことが在りすぎて何から書いて良いかわからなくなります。

まずは、大きなことといたしますと、8月に衆議院選挙が行われ、政権交代が行われました。

私が思うに、やっとうほんとうの民主主義が始まったのかなと思います。

ただ、民主党を中心とした連立政権ですので、まだまだ不慣れなところがあるようで、じっくりいっていないようです。今後に期待したいものです。

それから、相変わらず国内でも殺伐とした事件が多くなっております。やはり、不景気の影響もあるのでしょうか。

我々に関係することですと、今年も無資格無免許の問題が続いています。その中でも、二戸管内でもカイロ整体などがあちこちに出没してきております。そのためか、開業院にとっては影響がないとは言えないようです。また、全国的には、整骨院などが不正請求などをして逮捕されるような事件がいくつかありました。

国の中央医療審議会では、療養費支給も見直すような話があるようです。ぜひこれについてももしっかりやってほしいものです。

さて、二戸師会の事業報告と、会員の動向についてお知らせします。

4月14日定期総会が行われ、事業報告並びに決算報告と、21年度事業計画並びに、予算案などが審議され承認されました。

4月26日 陸前高田で行われた県の通常総会に2名出席しました。

9月20日 盲学校「盛岡特別視覚支援学校」で行われた、自立支援セミナーに本会より6名が参加しました。

10月4日 二戸市のなにやーと物産館で行われた、ふれあい祭りのマッサージ体験コーナーに参加して、多くの方々に利用していただきました。

11月20日 二戸の老人ホーム「ワクワク荘」においてマッサージの奉仕を行いました。

毎年行っております保健所長さんとの懇談会は今年も都合により中止となりました。

さて、会員の様子ですが今年は新会員として、2名の方が入会されました。1人の方は、九戸村で6月中旬に開業された斉藤真一郎さんです。もう1人の方は、以前にも入っていましたが一度止められて、今年から再び入会された、姉帯三春さんです。今後とも、どうぞ宜しくお願いします。

そのほかの会員につきましては、皆さん元気に働いております。ただ、高齢会員が多いために、今後はやめられる方も出てくることでしょう。

今後、若い方々に入会してもらいたいですね。以上で、二戸師会の報告を終わります。

編集後記

事業部長 山本 孝一

今年は春から花巻東高校の活躍、新型インフルの流行で毎日の様に学校の休校、学級閉鎖があり又自民党から民主党へ政権交代があつたりと大きく動きました。

この交代が私たちの業界にどのように働くか見守っていきたいと思います。

来年は本県の当番で東鍼連大会が開催されます。皆様のご協力よろしくお願ひします。

会報 42 号墨字、点字、テープ版を発行します、

後 付

社団法人 岩手県鍼灸按摩マッサージ指圧師会

平成 21 年度 会報 第 42 号

平成 22 年 3 月 1 日 発行

発行人 理事長 下佐 征昭

〒020-0116 盛岡市箱清水 1 丁目 36 番 5 号

電話(019)661-6277

編集責任 統括副理事長(事業部長) 山本 孝一

〒028-6101 二戸市福岡字在府小路 52-4

電話(0195)23-3968

事務所(事務局) 〒020-0116 盛岡市箱清水 1 丁目 36 番 5 号

理事長 下佐 征昭

電話(019)661-6277

郵便振替 岩手県鍼灸按摩マッサージ指圧師会 02360-9-19833

印刷所 沢倉印刷株式会社 二戸市福岡字城の外 38 番地

電話(0195)23-3107

